

News Release

2019年7月18日
株式会社日立物流

「道路を走る高速鉄道車両見学プロジェクト」への協力

株式会社日立物流は、7月14日、下松市制施行80周年記念事業「道路を走る高速鉄道車両見学プロジェクト」に協力いたしました。当プロジェクト(見学会)は、通常、交通量の少ない夜間に行われている英国都市間高速鉄道計画(Intercity Express Programme)向け車両の陸上輸送を日中に実施し、鉄道産業のまち「くだまつ」の魅力をPRすることを目的に、2017年に続き2度目の開催となりました。

当日は、(株)日立製作所 笠戸事業所(山口県下松市)から徳山下松港下松第二埠頭までの片道約2kmを、前回よりも1両多い合計2両の陸送をしました。あいにくの雨天にもかかわらず、沿道には約3万5千人の見学者が集まり、間近で迫力ある車両を見た驚きの声が上がったほか、車両を背景にした記念写真や動画を撮影される姿が見られました。

当社グループは、今後も地域コミュニティーをはじめ、多様なステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、豊かな社会づくりに貢献してまいります。



△当社トレーラによる陸送



△沿道の様子

〈見学会の概要〉

開催日	2019年7月14日
観覧エリア	下松市市民運動場周辺
輸送ルート	出発：(株)日立製作所 笠戸事業所 終着：徳山下松港 下松第二埠頭
主催	道路を走る高速鉄道車両見学プロジェクト実行委員会
共催	下松市、下松商工会議所
協力	山口県、(株)日立製作所 笠戸事業所、(株)日立物流 ほか